



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月4日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8154 URL <http://www.taxan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	122,975	2.2	4,195	36.8	4,427	21.7	2,943	36.4
27年3月期第2四半期	120,318	△1.4	3,067	39.8	3,636	49.2	2,157	59.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,017百万円 (△34.4%) 27年3月期第2四半期 3,073百万円 (46.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	104.17	—
27年3月期第2四半期	76.34	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	123,959	60,924	49.1
27年3月期	127,948	59,603	46.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 60,882百万円 27年3月期 59,564百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 27年3月期 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 特別配当10円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	252,000	△1.2	7,200	13.2	7,700	0.5	5,000	13.2	176.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料P.3.「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期2Q	28,702,118株	27年3月期	28,702,118株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	446,606株	27年3月期	446,040株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	28,255,854株	27年3月期2Q	28,256,963株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策を背景に企業収益の回復や雇用情勢の改善が続くなか景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、中国経済の減速などの影響を受け、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、パソコンや民生電子機器の需要が依然低迷を続けているものの、モバイル端末市場や車載市場、メディカル・ヘルスケア市場の需要が増加し、環境・エネルギーやIoT（注1）、ウェアラブル端末などの新興市場も成長がみられるなど堅調に推移しました。

かかる環境の中で、当社グループは「すべてはお客様のために」という経営理念のもと、当事業部門およびグループ各社の横串・連携機能の役割を担うべくGr経営本部を設置し、既存大手顧客への拡販や海外ビジネスの拡大および費用削減に努めてまいりました。

その結果、第2四半期連結累計期間における売上高は122,975百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は4,195百万円（前年同四半期比36.8%増）、経常利益は4,427百万円（前年同四半期比21.7%増）となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,943百万円（前年同四半期比36.4%増）となりました。

（注1）Internet of Thingsの略語。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMS（注2）などの開発・製造・販売など）

電子部品事業は、国内における通信機器やアミューズメント機器向け電子部品・半導体の販売および海外における電子機器向けEMSビジネスなどが堅調に推移しました。その結果、売上高は95,815百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益は3,755百万円（前年同四半期比41.8%増）となりました。

（注2）Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

#### ②情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

情報機器事業は、パソコンやデジタルカメラなどの取扱高が減少しましたが、住宅向け関連商材などの販売は堅調に推移しました。その結果、売上高は20,120百万円（前年同四半期比1.5%増）、セグメント利益は229百万円（前年同四半期比40.9%増）となりました。

#### ③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

ソフトウェア事業は、アニメーションのCG制作やゲームソフトの開発および販売に注力する一方で、費用削減に努めた結果、売上高は1,136百万円（前年同四半期比8.5%増）、セグメント利益は288百万円（前年同四半期比134.9%増）となりました。

#### ④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など）

その他事業は、国内のアミューズメント業界向けゲーム機器事業やパソコンおよび通信機器の再生事業などが低迷しました。その結果、売上高は5,901百万円（前年同四半期比0.4%減）、セグメント損失は102百万円（前年同四半期はセグメント利益51百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、123,959百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,989百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債につきましては、63,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,310百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少によるものであります。

純資産につきましては、60,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,321百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物につきましては、20,360百万円（前連結会計年度末比2,790百万円の増加）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,344百万円の収入（前年同四半期は4,940百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、385百万円の収入（前年同四半期は730百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入と保険積立金の解約による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,614百万円の支出（前年同四半期は3,409百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済と配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①平成28年3月期 通期連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	260,000	6,500	7,000	4,600	162.80
今回修正予想（B）	252,000	7,200	7,700	5,000	176.96
増減額（B）－（A）	△8,000	700	700	400	－
増減率（％）	△3.1	10.8	10.0	8.7	－
（ご参考）前期実績 （平成27年3月期）	255,143	6,362	7,664	4,416	156.28

②業績予想の理由

売上高につきましては、情報機器事業におけるPCやデジタルカメラ等の需要低迷の影響により前回発表を若干下回る見込みとなりますが、利益面につきましては、国内外のEMSなど付加価値ビジネスへの注力などにより売上総利益率の改善が図られ、前回発表を上回る見込みとなりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,130	20,475
受取手形及び売掛金	58,167	55,036
有価証券	127	121
商品及び製品	17,276	16,083
仕掛品	401	665
原材料及び貯蔵品	5,024	4,459
繰延税金資産	929	682
その他	4,497	4,302
貸倒引当金	△131	△155
流動資産合計	104,424	101,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,455	5,257
機械装置及び運搬具(純額)	2,285	2,106
工具、器具及び備品(純額)	936	845
土地	4,041	4,041
建設仮勘定	6	5
有形固定資産合計	12,725	12,256
無形固定資産		
のれん	607	539
ソフトウェア	479	476
その他	44	90
無形固定資産合計	1,131	1,106
投資その他の資産		
投資有価証券	6,351	6,259
繰延税金資産	274	275
その他	4,210	3,552
貸倒引当金	△1,169	△1,163
投資その他の資産合計	9,667	8,924
固定資産合計	23,524	22,287
資産合計	127,948	123,959

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,543	36,661
短期借入金	5,925	5,774
未払法人税等	1,286	1,101
その他	6,856	6,712
流動負債合計	54,612	50,249
固定負債		
長期借入金	8,253	7,539
役員退職慰労引当金	1,501	1,175
退職給付に係る負債	1,643	1,685
その他	2,335	2,385
固定負債合計	13,733	12,784
負債合計	68,345	63,034
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,912	13,912
利益剰余金	31,029	33,266
自己株式	△537	△538
株主資本合計	56,538	58,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	790	636
繰延ヘッジ損益	23	△5
為替換算調整勘定	2,462	1,759
退職給付に係る調整累計額	△250	△281
その他の包括利益累計額合計	3,026	2,108
非支配株主持分	38	42
純資産合計	59,603	60,924
負債純資産合計	127,948	123,959

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	120,318	122,975
売上原価	104,521	105,983
売上総利益	15,796	16,991
販売費及び一般管理費	12,729	12,796
営業利益	3,067	4,195
営業外収益		
受取利息	78	38
受取配当金	65	70
受取手数料	170	113
為替差益	161	—
その他	197	160
営業外収益合計	674	382
営業外費用		
支払利息	58	58
為替差損	—	44
その他	46	47
営業外費用合計	105	150
経常利益	3,636	4,427
特別利益		
固定資産売却益	7	2
投資有価証券売却益	3	1
その他	1	—
特別利益合計	12	3
特別損失		
固定資産除却損	4	4
投資有価証券評価損	166	4
減損損失	8	—
事業構造改善費用	—	13
事務所移転費用	4	—
特別退職金	—	15
和解金	64	—
その他	1	0
特別損失合計	249	39
税金等調整前四半期純利益	3,400	4,392
法人税、住民税及び事業税	998	1,100
法人税等調整額	237	355
法人税等合計	1,236	1,455
四半期純利益	2,164	2,936
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,157	2,943
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△6

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	214	△154
繰延ヘッジ損益	40	△29
為替換算調整勘定	620	△703
退職給付に係る調整額	33	△31
その他の包括利益合計	909	△919
四半期包括利益	3,073	2,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,066	2,024
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,400	4,392
減価償却費	968	764
のれん償却額	61	106
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20	△326
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△130	23
受取利息及び受取配当金	△144	△109
支払利息	58	58
投資有価証券評価損益 (△は益)	166	4
売上債権の増減額 (△は増加)	4,693	2,766
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△546	1,178
未収入金の増減額 (△は増加)	△40	237
前渡金の増減額 (△は増加)	△192	△514
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,147	△3,430
未払費用の増減額 (△は減少)	47	△149
未収消費税等の増減額 (△は増加)	369	367
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,276	△26
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△657	303
その他	94	△66
小計	6,297	5,580
利息及び配当金の受取額	142	112
利息の支払額	△58	△57
法人税等の支払額	△1,439	△1,283
その他	△1	△7
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,940	4,344
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△646	△701
有形固定資産の売却による収入	152	320
無形固定資産の取得による支出	△119	△144
投資有価証券の取得による支出	△527	△160
投資有価証券の売却による収入	243	61
子会社株式の取得による支出	△11	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	8
短期貸付けによる支出	△13	△3
保険積立金の解約による収入	100	375
差入保証金の差入による支出	△8	△4
差入保証金の回収による収入	12	71
その他の支出	△195	△32
その他の収入	280	595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△730	385
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,061	△145
長期借入金の返済による支出	△714	△714
配当金の支払額	△563	△705
その他	△70	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,409	△1,614
現金及び現金同等物に係る換算差額	202	△325
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,003	2,790
現金及び現金同等物の期首残高	13,361	17,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,365	20,360

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	93,519	19,828	1,047	5,922	120,318	—	120,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	584	325	2,022	879	3,811	△3,811	—
計	94,103	20,154	3,070	6,802	124,130	△3,811	120,318
セグメント利益	2,648	162	122	51	2,985	81	3,067

(注)1. セグメント利益の調整額81百万円には、セグメント間取引消去81百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	95,815	20,120	1,136	5,901	122,975	—	122,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	422	310	1,705	920	3,358	△3,358	—
計	96,238	20,431	2,842	6,822	126,333	△3,358	122,975
セグメント利益又は 損失(△)	3,755	229	288	△102	4,170	24	4,195

(注)1. セグメント利益の調整額24百万円には、セグメント間取引消去63百万円、のれんの償却額△38百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。